



湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活（れいわしょうかつ）』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文

令和3年1月6日

【今年も「ありがとう」で好スタート！】



2021年、今年こそ感染症に打ち勝って無病息災！皆さまが元気な活躍される一年となりますことをお祈り申し上げます。

昨年末の大雪が残ったままで、明日からの寒波が大変心配なところです。今朝方も自転車小屋の校内に入った所で、残雪による雪解け水が凍っているところで転んでしまった人があり、急いでコーンを立てたりして対応したところでした。こうした場所に限らず、明日以降の通学にも十分な注意が必要になります。

ところで、こうした中、各地域や町の教育委員会の方々が歩道を通行できるように除雪機やスコップ等で除雪をしてくださっています。自分の家庭や職場等だけでも大変な状況の中、こうして皆さんの通学や地域の方々の通行のために、厳しい作業を続けてくださっていることに心から感謝したいと思います。

学校によっては「早朝から生徒たち自身が自主的に活動し、先生方とともにスコップで除雪をしている」学校もあります。自分たちで活動することや、「当たり前ではない」こうしたご厚意に感謝し、できれば「ありがとうございます」の一声や、元気よく挨拶ができるとその思いが伝わり、地域にも温かな雰囲気生まれると思います。

今日の始業式では「明るい話題を」と思い、本年開催予定の東京オリンピックの米子市出身、「飛び込み」競技の日本代表「三上紗也可選手」の話をしました。たまたま、彼女を指導している安田コーチの中学・高校時代に国体等で関わっていたこともあって、昨年開催されていれば大会終了後にサプライズゲストとして本校に招く予定でした。延期となりましたが、今年の本番の活躍に期待しているところです。近日中には二人に会いますので、応援メッセージがあれば直接手渡して激励してきたいと思います。

さあ～、3年生はいよいよ進路の実現へ向けてのラストスパートに入り、13日からの進路懇談で自分が進む路を最終確認します。新たな路に進むことで、出会える仲間や先生方との関わりやさまざまな体験から自分の向かうべき新たな路が見えたり、楽しく充実した生活がおくれるようになったりもします。後で後悔するような選択にならないよう、しっかりと目標を定め、強い意志を持って後ろを振り返ることなく、「自らの進むべき路を自分の力で切り拓いてほしい」と思います。

【新生徒会に期待】

昨年末に生徒会の新執行部が組閣されました。学校の主役は生徒一人一人であって、執行部だけが主役というわけではありません。しかし、集団の力を高めるリーダー性を身につけることは大切なことの一つでもあります。1・2年生は新生徒会長を中心に、新生徒会執行部員もそれぞれの視点から建設的な意見を出し、より素晴らしい学校へと導いていってくれることを期待しています。

【キャップがベンチに？】

昨年の2学期終業式の前に紹介しましたが、生徒会の環境福祉委員会の活動としてペットボトルのキャップを集めていたところ、昨年は一万数千個・今年は約2万個集まりました。そのキャップを湯梨浜町商工会に寄贈したところ、女性部の方々より右の写真のような素敵なベンチを寄贈していただき、ありがとうございました。

